



トピックス

1. キャリア・パスポートの活用
2. 今号のピックアップ動画
3. 活動日誌より
4. コーディネーターのオススメ書籍

「UDデジタル教科書体」というフォントをご存知ですか？ICT教育の拡がりを背景に、ロービジョン（弱視）やディスレクシア（読み書き障害）に配慮したデザインとして開発されたそうです。早速、この通信にも利用してみましたがいかがでしょうか？ちょっとした工夫ですが、皆さんにとっても読みやすくなっていただきたいと思います。Windowsには標準搭載されているそうなので、ぜひ活用してみてください。

編集担当：コーディネーター 羽田野 祥子

キャリア・パスポートの活用、進んでいますか？

今年度から小・中学校でもキャリア・パスポートが本格導入されましたが、活用は進んでいますか？準備期間だった昨年度がコロナ対応に追われ、手が回っていないという声も伺います。キャリア・パスポートの役割は○自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価する○教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげるのですが、とりあえず書いて蓄積している、という状況も少なくないのではないのでしょうか。今回は、よく聞くお悩みと対策のアイデアをご紹介します。教育研修センターではキャリア・パスポートに関する校内研修の講師も派遣していますので、お困りの際にはお気軽にご相談ください。

<お悩み①>

共有の時間が取れない

書くのに時間がかかり、共有までできない。そんな時は内容や状況に応じて、回し読みをしてはどうでしょう。2人1組なら1,2分で読めますし、書き終えた子だけでも回し読みすれば他の子の邪魔をせず時間を使えます。もう少し時間があれば、読んだ感想をコメントとして書き合うのも良いですね。

<お悩み②>

書くものが多すぎる

キャリア・パスポートだけでなく、別でワークシートを作ったり、御礼の手紙を書かせたりしていませんか。キャリア・パスポートのフォーマットは決まっていないので、できるだけ1つにまとめるのがオススメです。御礼の手紙もキャリア・パスポートの写しで十分だと思います。

<お悩み③>

書ける子と書けない子の差が大きい

書けない子が書けるようになるには、他の子がどんなことを書いているのか知ることが重要です。共有する時間を取ったり、学級通信等で良い感想を取り上げたり、こういうことを書くのか、という良い事例にたくさん触れさせてあげてください。

今号のピックアップ動画

クリーン日向 常務取締役 鈴木睦代さん

鈴木さんは、日向市でゴミの収集やペットボトルのリサイクル等の中間処理を行う会社を経営されています。廃油でつくったキャンドルを灯して日向市駅前前で毎年夏に「キャンドルナイトひゅうがの灯り」というイベントを行ったり、量り売りの洗剤や食品など環境を意識した商品を販売する店舗をオープンし、様々な環境・エコ活動に取り組んでおられます。養護教諭をめざして東京で学ばれましたが、休みで帰った時に日向で見た青空に感動し、宮崎で働くことを決意されたそうです。

時間：7分30秒 制作：2021年7月



☆「おしえて！よのなか先生」の動画が4本追加されました！ぜひご覧ください！

キャリア教育支援センターWEBサイトの「活動日誌」から事例を紹介します
サイトではコーディネーターが関わる全活動を掲載していますので、ぜひご覧ください

延岡高校MS科にて、科学実験をメンターがオンライン指導

9月13日（月）、延岡高校メディカルサイエンス科1年生の総合的な探究の授業にて、メンター指導が行われました。メンターのお一人である道川功実子さん（旭化成メディカルMT株式会社 バイオプロセス技術開発部）が提示されたテーマは、「青果物中に含まれるビタミンCの定量」です。このテーマには、4班（1班4名で構成）が取り組み、それぞれ独自に挑んでいます。



生徒たちは、6月28日に第一回のメンター指導を経て、夏休み期間を含めて研究をすすめてきました。今回から実際に定量の実験に取り組むことになりましたが、この日の授業は、道川さんのご都合により、リモート（オンライン）での指導になりました。

化学の実験をオンラインで指導できるのだろうか、という心配もありましたがそれは全くの杞憂でした。生徒たちは実験をやりながら道川さんに問いかけたり、実験の様子を見ながらアドバイスされる道川さんの言葉に耳を傾けたりして実験をすすめました。リモートでありながらリアルにそばに居るかのような実験指導になったのです。オンラインを活用してここまでできることに、今後の大きな可能性を感じました。

日向工業高校建築科にて、ジョブシャドウイングの事前学習



9月22日（水）、日向工業高校建築科2年生向けに、10月に実施予定のジョブシャドウイングの事前学習を行いました。ジョブシャドウイングとは、仕事（ジョブ）に影（シャドウ）のように同行するというプログラムで、いわゆるカバン持ちのようなものです。本企画の背景には、建築現場では高校生に任せられる仕事が少ない、結局は掃除ばかりやって終わり、というインターンシップの現状への困り感がありました。

今回は現場の状況に合わせて、インターンシップとジョブシャドウイングを組み合わせたハイブリッドの形で3日間お世話になります。どんな視点で現場や働く人を観察すべきか、何を学びたいか、グループワークを交えながらみんなで考えました。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc058/htdocs/>

コーディネーターより、オススメの一冊をご紹介します



『最新の脳研究でわかった! 自律する子の育て方』

学校の当たり前を覆し、全国が注目する学校づくりを実現した麴町中元校長の工藤先生。その取り組みを研究し、脳神経科学の観点からエビデンスを提供したのが共著者である青砥瑞人先生です。

キーワードは「心理的安全性」と「メタ認知能力」。脳神経科学の観点から人間の基本的な機能を解説し、それを教育現場にどう落とし込んだか事例が紹介されるという構成で、研究と実践の両方が分かりやすく解説されています。

実は工藤先生の本はすでに何冊か読んでいたので、同じようなものかなと思いき、出版当初は読んでいませんでした。ところが、ある先生の勧めで読んでみたところ、脳科学の面から理解が深まる点も多く、新しい発見が続々と。メタ認知能力の向上はキャリアパスポートにも繋がりますので、読むとより意義や活用の幅が理解できると思います！（推薦者：羽田野）

著者：工藤勇一、青砥瑞人
出版社：SBクリエイティブ
発売日：2021/5/1